

令和2年度第1回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

日 時：令和2年5月14日（木）14：00～15：30

場 所：WEB会議（Zoom）のため各施設にて

出席者：10名

傳道聡子（県立中部病院）、仲宗根恵美（那覇市立病院）、宮城郁美（北部地区医師会病院）、金城美奈子（県立八重山病院）、慶田博子（県立宮古病院）、島袋百代（ハンギョウジャパン沖縄アフェリエイト）、樋口美智子（沖縄国際大学）、増田昌人（琉球大学病院）、大久保礼子（琉球大学病院）、山田綾美（琉球大学病院）

欠席者：2名

中山富美（沖縄県地域統括支援センター）、伊波善之（沖縄県健康長寿課）

【報告事項】

1. 令和元年度第4回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

資料1に基づき、令和元年度第4回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨が承認された。

2. がん患者ゆんたく会（1月～3月）

資料2-1～2-3に基づき、令和2年1月～3月に各拠点病院で開催されたがん患者ゆんたく会について報告があった。

県立中部病院では、患者会を立ち上げたいという方やピアサポーター2名の参加があり情報交換ができたと報告があった。2月、3月は新型コロナウイルスの影響で中止。沖縄県の動向をみて再開を検討する予定。

那覇市立病院では、1月は薬剤師を招いて講演を行い、直接医師へ聞けないことも薬剤師には聞きやすい雰囲気だったと報告があった。インターネットの普及で様々な情報があふれているので、正しい情報をとりましょうという話題もあった。2月、3月は新型コロナウイルスの影響で中止。院外向け研修会の許可が出る頃を目処に再開を検討しているが正式には未定、今年度から開催場所が院内になるとのことだった。

琉大病院では、1月はフリートークにて次年度の開催テーマについて話し合い、AYA世代への情報提供方法やゆんたく会の案内方法など意見があった。2月はピアサポーター3名の派遣があり、それぞれの体験談を自由に話され、新規参加者も先輩サバイバーの話を聞き前向きになっていた。次回もまたお会いしましょうと笑顔で解散したと報告があった。3月は新型コロナウイルスの影響で中止、院内の動向を確認しながら再開を検討する予定。

パンキャンジャパン沖縄は、3月に開催を予定していたが新型コロナウイルスの影響で中止になったと報告があった。

北部地区医師会病院は、3月26日に院内でサロンを開催し、現在は乳がん患者のみを対象としており2名の参加があった。新型コロナウイルスの影響で継続開催はできていないが、今後は対象を拡大していきながら継続していきたいと報告があった。

3. がん相談件数（1月～3月）

資料3-1～3-7に基づき、令和2年1月～3月の各拠点病院のがん相談件数について報告があった。

北部地区医師会病院では、麻薬管理や点滴管理を要する在宅調整が多く、院内外の連携、外部とのやりとりが課題としてあがったと報告があった。

県立中部病院では、今回は院外からの相談はなく、在宅医療やゲノム医療に関する相談が多い傾向にあったと報告があった。

那覇市立病院では、少しずつ院外からの相談が増えてきており、院外は電話相談で家族や友人からの相談が多い傾向だった。相談内容は介護や在宅ケア、ホスピス調整が上位を占めていると報告があった。

県立宮古病院では、2月後半ごろから新型コロナウイルスの影響で本島へ治療に行けない等、治療継続に関する不安についての相談があったと報告があった。

県立八重山病院では、1月・3月に社労士との面談も行われ、継続相談もあり社労士が相談後の経過追跡ができ、フィードバックもできたと報告があった。4月は電話相談も行われたとのことだった。

琉大病院では、各月2割弱が他院の患者さんからの相談になっており、経済的な面から介入することが多いため仕事相談も多い傾向にあるが、在宅医療やホスピス調整件数も多く占めていると報告があった。

地域統括支援センターより紙面報告があり、3月より病棟への出入り困難もありピアサポート件数は減っており、4月・5月は活動停止していると報告があった。

4. がん相談件数集計

資料4、当日資料に基づき、山田委員より令和元年度沖縄県がん相談件数集計について報告があった。1月～3月分においては、ほとんど昨年同様だが、仕事に関する相談が減少傾向にあると報告があった。全体集計より、介入時期において「緩和ケアのみ」が減少し、「治療前」「治療中」が増加した。パンフレット等での周知で早期介入が出来てきているとの意見もあった。

5. がん相談支援センターの広報

資料 5 に基づき、山田委員よりがん相談支援センターの広報について報告があった。前年度は全 24 回投函し、18 回掲載があり今年度も引き続き広報活動を行っていくとのことだった。

6. PDCA チェックリスト

資料 6 に基づき、大久保委員より PDCA チェックリストについて報告があった。「相談対応後の評価・モニタリング」や「外部評価を受ける」の項目が低評価となっているため、今後の課題として取り上げ、部会でも取り組んでいきたいとのことだった。

【協議事項】

1. 部会委員の選定について

資料 7 に基づき、部会委員の選定について協議が行われた。委員の変更・追加について、地区医師会病院の宮城郁美委員、沖縄県地域統括支援センターの中山富美委員が承認された。また、部会長・副部会長は前年度より引き続き任命された。

部会長 琉球大学病院 大久保礼子

副部会長 那覇市立病院 仲宗根恵美、 県立中部病院 傳道聡子

2. 令和 2 年度部会計画（各施策）

資料 8 に基づき、大久保委員より令和 2 年度部会計画（各施策）について提案があり、協議が行われた。

〈施策 1〉 患者アンケート（周知について）の実施

事務局にてアンケートのたたき台を作成し、各病院にて実施し回収する予定。

各 10～50 件程度、実施量については未定。

〈施策 2〉 ①院内周知体制の見直しを行う

各病院にて院内周知体制を見直し、共通項目があればまとめる。

〈施策 3〉 ①がん相談研修の実施

2 病院ずつペアで年 3 回開催しているが、10 月以降の開催予定。開催方法については、ロールプレイではなく講義スタイルで行うのであればオンデマンド等活用しながら、ロールプレイを要する場合は下半期での開催予定にする。引き続き検討する。

〈施策 3〉 ②がん相談員マニュアルの運用

前年度作成したマニュアルを活用し、各施設にて適時改訂していく。

〈施策 3〉 ③相談支援センター満足度調査の実施

施策 1 の患者アンケートと併せて実施する方針で検討する。

〈施策 4〉 ①がんサロンネットワーク会

下半期の開催を予定

〈施策 5〉 就労支援の充実

強化学業のメニューも改訂があり、1 つは専門家を相談センターに配置し対応する、2 つ目は資材を用いて週 5 日、専門のコーディネーターを配置し対応するという項目が追加されている。大久保委員よりメーリングリストにて共有し、次回引き続き検討することとなった。

3. その他

(1) 次回開催について

令和 2 年 7 月 9 日（木）に開催することとなった。

また、次回も Zoom を用いた WEB 会議で開催予定となった。

(2) 新型コロナウイルスでの対応

那覇市立病院より、本島で治療を終え宮古へ帰りたいが、コロナの影響で帰省後 2 週間同居家族が通学不可となり帰省時の対応が難しいケースがあると事例共有があった。宮古の小学校別の独自規制となっており、学校側の判断を確認しながら検討することだった。他、離島や本島でも渡航歴 2 週間がある方の立ち入りは不可など規制がある。

また 6 拠点病院において、新型コロナウイルスに関連したがん相談は落ち着いている様子である。